

「厄崎・西宮会社設立・法人化サポート」というサイトの運営を開始して、もうすぐ2年になる。

それでもある大学の「起業家支援講座」などで教鞭を執るなどしていたが、安倍政権が「開業率10%台」を目指すからには、当事務所の仕事の一つとして起業家支援を取り組み、毎月4~5件、年間約50件の起業家とお付き合いをスタートさせている。

ところが、残念なことにせつかく起業家からお付き合いさせていただいたのに、1年後には事業をやめてしまった方も少なくない。では、その起業家が全く仕事のできない人だったのかどうかと、実はそういうわけでもない。

香川会計事務所所長

香川 晋平

起業は「感情と勘定」が重要

私はこれまで「黒字社員、赤字社員」というテーマで執筆や講演を数多くなしてきましたが、その判断基準で「黒字社員」に分類される人はかりたつたと思う。これまでの経験を聞いてみると、前職で立派な実績をあげているし、それまでの「安定した給与」

をして活躍し続けただろう、と思う人たちばかりなのだ。

では、なぜ前職では立派な「黒字社員」であったのに、起業する

起業の構想段階では、「ワクワクしながら遊び心を持つてます」「こんな事業をやりたい」といった夢や希望を持つことが重要である。

かがわ・晋平 1972年、厄崎市生まれ。公認会計士・税理士。阪神間を中心に年間約50件の起業家支援を行う香川会計事務所(厄崎市)所長。「起業するならもう1数字で始めなきゃ!」(あさ出版)など著書多数。

見る
思う



事業の構想を練る本人が、その事業に熱い気持ちを抱けないのであれば、誰も共感してくれず、応援してくれる人も出でない。だから、「勘定」を重視すべきなのだ。

そして、起業した後は、その事業に情熱的に取り組む一方で、その事業は計画通りに進んでいるのかを数字でチェック。「継続する策」と「やめる策」の仕分けを定期的に行う。そう、起業で成功するためにには「感情」と「勘定」のバランスが欠落していることが最大の要因ではないかと、私は考える。

起業の構想段階では、「ワクワクしながら遊び心を持つてます」「こんな事業をやりたい」といった夢や希望を持つことが重要である。

かがわ・晋平 1972年、厄崎市生まれ。公認会計士・税理士。阪神間を中心に年間約50件の起業家支援を行う香川会計事務所(厄崎市)所長。「起業するならもう1数字で始めなきゃ!」(あさ出版)など著書多数。

て、緻密な計画を立てる必要がある。だから、起業の準備段階では、業に熱い気持ちを抱けないのであれば、誰も共感してくれず、応援してくれる人も出でない。だから、「勘定」を重視すべきなのだ。

そして、起業した後は、その事業に情熱的に取り組む一方で、その事業は計画通りに進んでいるのかを数字でチェック。「継続する策」と「やめる策」の仕分けを定期的に行う。そう、起業で成功するためにには「感情」と「勘定」のバランスが欠落していることが最大の要因ではないかと、私は考える。

起業の構想段階では、「ワクワクしながら遊び心を持つてます」「こんな事業をやりたい」といった夢や希望を持つことが重要である。

かがわ・晋平 1972年、厄崎市生まれ。公認会計士・税理士。阪神間を中心に年間約50件の起業家支援を行う香川会計事務所(厄崎市)所長。「起業するならもう1数字で始めなきゃ!」(あさ出版)など著書多数。

て、緻密な計画を立てる必要がある。だから、起業の準備段階では、業に熱い気持ちを抱けないのであれば、誰も共感してくれず、応援してくれる人も出でない。だから、「勘定」を重視すべきなのだ。

そして、起業した後は、その事業に情熱的に取り組む一方で、その事業は計画通りに進んでいるのかを数字でチェック。「継続する策」と「やめる策」の仕分けを定期的に行う。そう、起業で成功するためにには「感情」と「勘定」のバランスが欠落していることが最大の要因ではないかと、私は考える。

起業の構想段階では、「ワクワクしながら遊び心を持つてます」「こんな事業をやりたい」といった夢や希望を持つことが重要である。

かがわ・晋平 1972年、厄崎市生まれ。公認会計士・税理士。阪神間を中心に年間約50件の起業家支援を行う香川会計事務所(厄崎市)所長。「起業するならもう1数字で始めなきゃ!」(あさ出版)など著書多数。